



# 製品仕様

## Faronics Power Save

### システム要件

Power Save クライアントコンピュータは Windows 2000 SP4、Windows XP SP3、Windows Vista、および Windows 7 に対応します。Faronics Core のシステム要件については Faronics Core のユーザーガイドをご覧ください。コンポーネントはすべて Windows の管理者アカウントでのインストールをお勧めします。

### インテリジェントな設定

- 非動作の定義は複数の基準で決定
- Deep Freeze のメンテナンススケジュールを認識して対応
- Power Save の動作前にユーザーに通知
- 電源遮断前に開いている書類、スプレッドシート、プレゼンテーション、電子メールの下書きを保存
- コンピュータの電源遮断前にユーザーをログオフさせることも可能
- 無停止オプションにより PC の電源管理を一時的に無効にすることが可能
- ローカルにおけるウェイクアップのスケジューリングとカスタマイズが可能

### 非動作定義のカスタマイズ

- CPU、ネットワーク、あるいはディスクの動作が定義されたレベル以下に落ちた場合に節電処理を開始
- 指定されたアプリケーションの実行中はワークステーションの節電処理開始を回避
- 消費電力削減のためにハードディスクの電源を遮断
- 重要度の低いアプリケーション一覧にあるプログラムによる処理は無視

### エンタープライズ電源管理

- ワークステーション OS の電源設定より優先的に動作
- 個々のワークステーションの消費電力に合わせて消費電力プロファイルを作成
- Power Plan Assistant により、使用電力プランとポリシーを簡単に作成し、さまざまなレベルのエネルギー管理をさまざまなタイミングで実行
- 既存の電源プランを容易に複製および編集し、変更を導入環境全体の電源プランやポリシーと自動的に同期

### エンタープライズ・コントロール

- Faronics Core やサードパーティー製のデスクトップ管理ツールによる導入

- 部署、所在地、およびユーザーグループなどのユーザー定義パラメータに基づいてワークステーショングループを作成
- ウェブブラウザ経由でワークステーションのウェイクアップを実行

### 柔軟なスケジューリング

- モニタの電源遮断、コンピュータのスリープ、ハイバネート、あるいはシャットダウン
- Wake-On-LAN や Wake-Without-LAN、シャットダウン、あるいは再起動イベントのスケジューリング
- Power Save のコンフィギュレーション更新をスケジューリング
- Power Save が電源管理ポリシーを適用しない場合のメンテナンスウィンドウ表示のスケジューリング
- 「ハイバネート」もしくは「スタンバイ」モードからのローカルウェイクアップのスケジューリング

### 節電実績レポート

- Faronics Core 経由で消費電力と節電量のレポートを生成
- 利用地域の通貨に換算した電気使用料金に基づく節電量を概要および詳細レポートにより表示
- Audit モードで消費電力の基準値を提供し、フル稼働時の予想節電量を表示
- 電気使用量削減による環境保全上のメリットをレポート
- 節電目標の最大貢献者と最小貢献者、および節電履歴をレポート